



2011年

夏季号

目次

- 1...Manager's Eye
- 2...シンクライアントシアター
- 3...ご紹介・情報コーナー
- 4...編集あとがき

パソコンも節電の夏！

東京のある企業での光景です。エアコンはテナントとして入っているビルでの一括管理で8時から18時まで、28度設定。全面ガラス張りのオフィスの室温は半端じゃなくて、うちわを片手に... 今年は大変な夏になりそうです。

そんなオフィスでも、**パソコンだけは例外**のようです。

パソコンって結構電力を使いますね。おまけにパソコンが出す熱は節電モードの事務所内の温度にも大きく影響します。室内の温度が上がるとファンが急速に回り始め、その音もばかになりません。パソコンの節電は「こまめに電源を切る」くらいがせいぜい、こまめに電源を切っている仕事にならないから、結局、節電は難しい...
これが結論ではないでしょうか？

ところが、シンクライアント導入企業にとっては
「使いながら節電できる」良い方法があります。驚くことに、

パソコンのハードディスクを**eCORE(本頁下解説参照)**に換えると**33%の電力削減**
パソコンを**シンクライアント専用端末**に換えると**89%の電力削減**
が可能になります。しかも使いながらですから、かなり効果的な対策といえます。
さらに、静音化される... などのおまけつきです。

さて、サーバーの対策はどうでしょうか。データセンターの利用が考えられますが、震災以降、シンクライアントサーバーをデータセンターに置く相談が増えています。

データセンターを利用することで更なる節電が可能です。ちなみに震災の影響で比較的安心と思われる関西のデータセンターへ切り替える企業が増えている、東京のデータセンターの稼働率は最悪だと聞いています。弊社でもデータセンターの利用を奨めて行きたいと考えていて、海外のデータセンターとの提携も検討しています。
パソコンやサーバーも節電と震災対策を考えなくてはならない暑い夏を迎えます。



eCOREとは

ハードディスクが壊れてしまったパソコンに、ハードディスクの代わりに付け替えて利用する製品です。旧型のパソコンやハードディスクの壊れたパソコンもシンクライアント端末として復活し、ファンが回らなく熱を持たないので、省エネ対策にもつながります。ソフトやデータはサーバーにあるので、面倒なセットアップや再インストールの必要がなく、すぐに仕事を再開することができます。

※ 詳しくはアンケート用紙の裏に紹介しておりますので、ご覧下さい！



こちらのコーナーではビジネスを通してご縁のあった方々にコンサルティング・カウンセリング・社内教育などの課題に応じて特集記事を書いていただくコーナーです！

第3回は(株)ワイズサービス・コンサルティングの矢田祐二様に「アナログ化力」についてお話を伺いました。

今求められる力は、『アナログ化力』です

今の世の中は、いろいろなものが進歩し、便利でスピードある時代になりました。そういう時代の背景のなかで必要となったのが、デジタル化の力です。

デジタル = 理論的、自動、ハイテク

アナログ = 感覚的、手動、ローテク

現在手作業で行っている業務をシステム化する、オペレーターが行っている顧客とのコミュニケーション業務を自動化する、など。デジタルにすることにより、より多くの作業を少ない人間で、より正確でスピーディに処理することができるようになりました。企業では、このようなことを考え、具現化していく人材は、いままでもこれからも変わらず必要となります。

そして、昨今では、その能力にもうひとつの力が求められるようになりました。それが、アナログ化力です。デジタル化が提供した「効率」は、一方で人の繋がりや人の感覚的なよい面を奪ってきたという面もあります。

業務のシステム化を進めたことにより、企業内では、社内のコミュニケーション不足や社員のコミュニケーション能力の低下についての課題が多く現れ始めました。

そんなデジタル化が進む中、あえて「アナログを選ぶ」という必要性が高まりました。



『不効率的なコミュニケーション手段を選ぶ』

メールは便利ですが、その反面、人間関係構築の機会を減らします。また、時として、こちらの意図しない印象を相手に与えてしまうこともあります。コミュニケーション能力の高い人は、そういうリスクを回避するために、アナログでフォローをします。

お願いごとは電話をしてから詳細をメールする、関係が出来ていない人には会いに行く、ファックスにも手書きの一筆します。今は、コミュニケーションのツールも増え、

大変便利になりました。

電話(固定)、ファックス、メール、携帯電話、携帯メール、テレビ電話、メーリングリスト・・・こういう環境は、コミュニケーション能力の高い人は、効率と効果のバランスをとりながら、上手にさらにスピーディに信頼関係を築いていきます。逆に、コミュニケーション能力の低い人は、自覚なしに同僚や顧客に嫌な思いをさせます。

『目的のためにアナログを選択する』

この厳しい環境下、コスト削減および環境への取組の一環として、社内のペーパーレス化を取り入れる企業も多くなります。会議では各自 PC などの画面の中の資料を手元でみます。印刷や資料配布の手間が省け、資料の保管のスペースが削減できるなどのメリットがあります。その反面、ペーパーレス化された会議には下記のようなデメリットもあります。

- ① 創造力は下がる: アイディアを出す会議であれば、「紙」です。PC では脳は活性化しにくい。
- ② 場のモチベーションが下がる: 生産性の高い会議には、「熱」が必要。PC 画面だと、場の空気も参加者のモチベーションもあがりにくいのです。
- ③ 余所事をする: PC が手元にあると会議中にメールしたり、書類をまとめたり。会議の目的によっては、資料を紙で準備する、PC の持ち込みを禁止するなどの選択をするが必要になります。会議とは何か、どうやるといい結果が得られるのか、しっかり会議をつかって結果をだせる人しかこの選択はできません。出来ない人は、盲目的にペーパーレスに走るようになります。

今までの時代は、アナログをデジタルが補完してきた時代です、これからは、デジタルをアナログが補完する時代です。



矢田祐二 … 株式会社ワイズサービスコンサルティング 代表取締役 URL: <http://www.ys-s.net/index.html>
人事・組織コンサルタントとして企業規模の成長と共に発生する経営上の課題、その規模特有の経営のやり方を研究支援。小規模企業の現実に即した人事制度(教育訓練、給与、評価)の構築、幹部育成のための経緯幹部と作る経営計画、どんな企業でも人を集める採用コンサルティング等を行っている。



こちらのコーナーでは当社の主力商品である「シンクライアント」のさまざまな使い方について紹介するコーナーです！
第3回は、“災害時のバックアップについて”をテーマにお送りします

『災害のバックアップ、対策できていますか？』

2011年3月に発生した未曾有の大震災。地震、津波による被害や停電の影響により、多くの会社が混乱に陥りました。ITベンダー各社も震災により破損した機器などに対する保守、修理対応を実施するなど、かつて経験したことがない事態に改めて震災リスク対応の大切さを実感させられました。

弊社も震災以降、バックアップ体制についてさまざまな企業様からお問い合わせを頂きました。皆様の会社のバックアップ体制は万全でしょうか。通常は、外付けハードディスクに社員が使っている各PCごとにバックアップをとったり、バックアップを行う作業を手動で行ったりしていますが、最初は定期的に行っていたりも、だんだん面倒になってきて、そのうち作業がうやむやになってしまう…なんてことがほとんどです。



災害で、もしパソコンが止まってしまったら…？

『シンクライアントならバックアップは一括で！』

シンクライアントの場合、サーバー内に社内情報を一元管理しているので、外付けのハードディスクやネットワークディスクに定期的に自動バックアップ作業を行う設定さえしておけば、人の意識に依存されることなく定期的にデータを保存することができます。

しかしせっかくバックアップデータをとっても、保存したディスクをサーバーのすぐ隣に置いては災害対策とは言えません。例えば定期的にバックアップを行うことに加え、

- ① データをコピーしたディスクは常に耐火金庫の中に入れておく。
- ② バックアップを取ったディスクの保管する場所を一箇所ではなく数か所用意しておく(東京と大阪など)
- ③ バックアップを取ったディスクを銀行の貸金庫の中に入れておく。
- ④ 情報管理をデータセンターに依頼する。

などの対策が必要です。一番理想的な方法としては、①ですが、毎日金庫からディスクを取り出し、バックアップを取り、また金庫に入れる作業が面倒くさい！と言っても、②～④に関しては手間もお金もかかってしまいます。

『新しいメディア保管庫の登場！』

そんな中、とても便利そうな商品を発見しました！
セントリー株式会社から発売されている、なんとUSBポート付きの耐火・防水金庫「QA0121」です。



Sentry セントリー 耐火・防水 USBポート付き
メディア保管庫(30分耐火)「QA0121」 参考価格:33,500円

これを使えば金庫からディスクをいちいち取り出す手間もなく、社内情報を一括してバックアップを取ることができるので、災害対策が強化できそうです。弊社でも近々、一台購入予定ですよ(^_^)

パソコンやサーバーの情報がなくなってしまうと甚大な被害につながりかねません。普段から社内情報の管理方法について考え、リスク軽減を行っておくことが、大きな損失を免れる第一歩です。



【シンクライアントシステムとは】

企業のシステムにおいて社員が使うPC(クライアント)に最低限の機能しか持たせずサーバー側でソフトやファイルなどの資源を管理するシステムの総称。PCをパーソナル(個人)コンピュータとしての利用を辞め、すべてサーバーに引越すことで、一元管理(リスク集約)をする仕組みで、様々なメリットが得られます。 ※詳細は弊社HPへ⇒<http://www.infinity-i.co.jp/>

ご紹介・情報コーナー

こちらのコーナーでは経営者の皆様向けにご紹介したい情報をお届けします！
今回は、(株)ビーブレイン様の「達人ページ」をご紹介します。

B株式会社ビーブレイン

ネット集客の成功の秘訣がトータルパックとして登場しました！

ネット集客トータル支援サービス 「達人ページ」

ホームページはあるけど集客がうまくいっていない。そんな企業様のためのサービスができました。
実際弊社で効果を10年間出している方法を元に集客用ページの作成からネット宣伝戦略まで全て行います。
知識がなくてもネットでの集客が可能になり、貴社はピッタリなお客様からの連絡を待つだけ。
そんな楽なことはないですよ。
このネット集客トータルパック「達人ページ」はネット集客に必要なことを全てパックにしているので、
貴社は弊社に必要原稿を渡すだけ。簡単でしょ。

貴社はホームページがあっても、なくてもOK

弊社で実証済のノウハウで
ほぼ全てお任せで集客!!

貴社のサービスを

10年間の実績(月100件以上)
DM専門会社の
実績派ノウハウで構成
・月間1,000万円増収も!?

月300万円以上の
売上げUPの
事例も!!

の業者にこんなご不満ございませんか?
・ネット集客が難しい
・集客が速い
・集客が安い

CD・DVD作成 No.1
業界の三冠王!!

石原啓一氏に贈るサービス提供率100%!!

見込客が
30倍増加の
お客様も!

貴社の報告
ホームページは
そのほか

詳しくは、<http://www.tatsuzin.net/> をご覧ください。

興味を持たれた方は
こちらまでご連絡いただき、
「インフィニティのiSHAREを見た」と伝えてください！

株式会社 ビーブレイン

〒451-0043 名古屋市西区新道 1-11-2-207

TEL: 052-990-8770 URL: <http://www.tatsuzin.net/>

発行所: 株式会社インフィニティ
編集・発行人: 大竹裕子
年4回 発行

〒460-0002

名古屋市中区丸の内一丁目9-8 丸の内KTビル 4F

TEL: 052-232-4600 FAX: 052-219-5097

INFINITY
For Enterprises

URL: <http://www.infinity-i.co.jp> メールアドレス: support@infinity-i.co.jp